

編集後記

●特集1の原稿を読みながら、先生方のかかわりの真摯さに、心が大きく動かされました。失敗したかかわりを修復するための具体的なヒントに加え、かかわりが修復しきれなかったことにふれている方々がいます。「教師は、この先もずっと成長し続ける子どもたちに一時的に寄り添っている伴走者」という文章が出てきますが、この「一時的」という一言に込められた複雑な思いは、真摯なかかわりを続けているからこそその輝きがあります。読者の皆さんが共有できる感覚なのではないでしょうか。

●特別支援学級や通級指導教室の形態は、都道府県や市町村でずいぶん異なります。それでも合意形成や、子どもを丁寧に支援していく大切さは変わらないことと思います。インクルーシブ教育の流れの中で、どこで学ぶかという「場」の発想から、ニーズ対応を重視する発想へと転換が求められているようです。(こ)

次号のお知らせ

●特集1 異動したときの心構え、異動してきた先生への接し方
異動は「最大の研修」と言われることがあります。「転職に近い」という実態もあり、大きなストレスがかかります。自身が異動するとき、そして異動してきた先生を迎えるときの工夫を紹介します。

●特集2 子どもの成長を次年度に引き継ぐ
引き継ぎの際に、今年できるようになったことなど、子どものポジティブな面も一緒に引き継ぐことができれば、次年度の支援に役立つでしょう。今回は、こうした引き継ぎの工夫について考えます。



学校教育相談

2019年 平成31年 2月号

定価 800円 (本体 741円)

2019年2月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史


●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

・今月号のブックレビューでご紹介した『学校の「当たり前」をやめた。』(工藤勇一/著)の中で、ほんの森出版発行の『〈森・黒沢のワークショップで学ぶ〉解決志向ブリーフセラピー』が紹介されています。森俊夫先生と黒沢幸子先生が書かれた本で、工藤先生の校長室には、いつでも若手教員に紹介できるように置かれているそうです。

『〈森・黒沢のワークショップで学ぶ〉解決志向ブリーフセラピー』は、2002年の発行以来、売れ行きが衰えていないロングセラー。自信を持っておすすめします。

●本誌の2019年4月号からの1年間の誌代は12,080円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている
※詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索